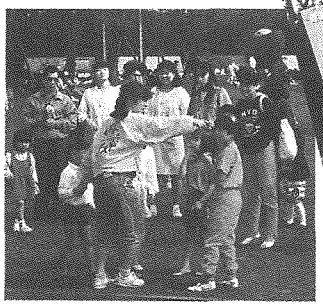
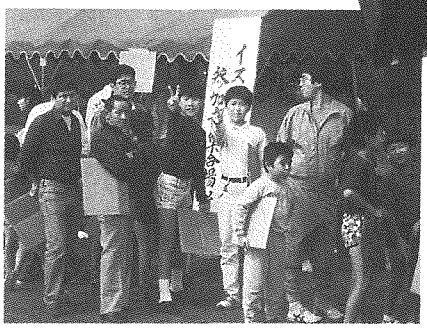
広報しらか

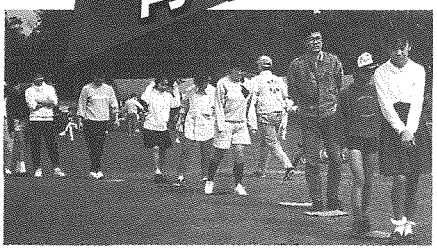
青少年健全育成特集

すてきな出会いを求め、青少年たちが実行委員会を組織し、総合公園平塚のはらっぱで「青年フェスティバル」を開催しました。



青年フェスティバル！





みんなで広げよう健全育成の輪

一人一人の心遣いで

二十一世紀を担っていくのは青少年です。子供たちを、一人前の社会人となるまで守り育てるのは、親であり大人の責任です。今は飽食の時代、価値観多様化の時代といわれ、子供たちは人生観を確立しにくい時代ともいわれています。しかし、親として大人として、子供に対する責任を果たすため、最善の努力をはらわねばなりません。青少年の健全育成は、全市民的課題であり、解決するには家庭はもとより、各種団体、地域全体が手を結んで、実践活動の伴う大きな輪に広げていくことが大切です。それでは、市が青少年の健全育成に取り組んでいる内容、健全育成関係団体の紹介（二・三面）、主な施設の紹介（四面）をしましょう。

青少年行政の展開

青少年課では、青少年が社会における自らの役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな情操を培い、心身共に健やかに成長することを願っています。

二十一世紀に向けて新たな歩みを始めた今、高齢化社会の到来、都市化、マスメディアの氾濫、国際化等社会展望は大きく変わりつつあります。また、青少年を取り巻く社会環境も、子供の減少化、青少年の家庭生活と家族関係、塾通いなど家庭の教育機能の変化、青少年の自立と家庭の役割など多元化を示しています。そこには多くの課題が生じており、その課題を解決しなければなりません。

このため、市民のみなさんの青少年健全育成に対する理解を求めると同時に、新しい時代に向けて「青少年の自立と連帯」を推進することが必要です。また、家庭・地域教育の向上と学校、行政機関を含めた全体の果たすべき役割、さらに、お互いに連携のとれた協力体制が求められています。

それでは、市が行っている青少年健全育成の施策を紹介しましょう。

市の施策

【明るい家庭づくりの推進】

家庭に対しては「明るい家庭づくり」を基盤に、家庭生活の中で親子のふれあいを呼び掛けるとともに、生活のきまりやしつけなどを身につけさせるための指導を実施しています。

【地域ぐるみの育成活動の強化】

地域は、希薄化している地域教育の向上を図るため、活動組織の援助を積極的に進めるとともに、青少年の活動への参加を促進し、地域ぐるみの育成活動に努めています。

【青少年指導者の養成】

青少年指導者の養成及び資質の向上を図るため、青少年団体、青少年育成団体等とともに、指導者研修を充実し、指導者層を拡充しています。

【研修活動・体験学習の推進】

青少年活動の主役は、青少年自身であり、一人一人が役割を担った活動を進める中で、豊かな体験を積み、進んで社会に参加できるよう、青少年を県外及び海外に派遣しています。その中で、国際理解や自然とのふれあい、体験学習などで、青少年同志の交流を深めています。

また、福祉活動の研修や活動の発表の場を設けて、青少年の地域活動の推進を図っています。

【社会環境浄化と補導活動の充実強化】

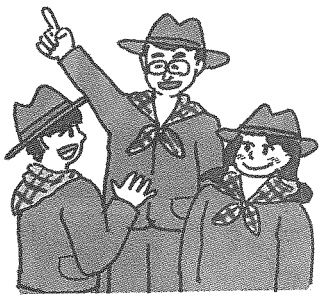
非行を誘発しにくい環境づくりと、補導活動の充実強化を図るため、関係機関・団体とともに、非行防止活動を展開しています。

【青少年活動施設の整備及び運営】

青少年活動の施設整備と運営を実施しています。青少年活動の拠点として、青少年会館の有効活用を図っています。横内子どもの家とみなと児童館では、地域の子供たちが、余暇時間を有意義に過ごしています。

また、びわ青少年の家は、宿泊研修、青少年交流の場として、子供たちに利用されています。

少年を見守る育成団体



子供たちが、精神的にも肉体的にも健やかに成長できる環境を作り出すこと。このことは、地域社会における大人の責務です。市内の各地区には、青少年を見守っている青少年健全育成団体がいくつかあり、絶えず他の団体との連絡を密にしながら活動しています。ここでは、地域の青少年たちに対し深い愛情をもって接している団体を紹介します。

青少年を見守る人々

- 青少年指導員連絡協議会
- 子ども会育成連絡協議会
- 社会環境浄化員連絡協議会
- 中学校区青少年健全育成連絡協議会
- 青少年補導員連絡協議会

健全育成連絡協議会

- 学校警察補導連絡会
- ボーイスカウト平塚市連絡協議会
- ガールスカウト平塚市連絡会
- 平塚市青年団協議会
- 社会を明るくする運動実施委員会
- 平塚市工場防犯協会青少年対策部
- 国際ソロプチミスト平塚
- 平塚南ロータリークラブ
- 平塚北ロータリークラブ
- 平塚西ロータリークラブ
- 平塚ロータリークラブ
- 平塚湘南ロータリークラブ
- 平塚ライオンズクラブ
- 平塚しらさぎライオンズクラブ
- 平塚なでしこライオンズクラブ
- 平塚湘南ライオンズクラブ
- 平塚青年会議所
- 民生委員児童委員協議会
- 社会福祉協議会
- 平塚市自治会連絡協議会
- 平塚市公民館連絡協議会
- 平塚市ＰＴＡ連絡協議会
- 平塚地区Ｂ・Ｂ・Ｓ会
- 保護司会
- 更生保護婦人会
- 県興行環境衛生同業組合平塚支部

学校区

メンバーは自治会、小中高等学校教員、社会環境浄化員、子ども会育成会、青少年補導員、保護司、青少年指導員などの方々で構成され、新しい民間エネルギーを主体とする市民運動の核として期待

育成団体の紹介

青少年指導員

地域における青少年の自発的な活動を助けたり、指導したりしているのが青少年指導員です。

特に、子ども会や中学生友の会の結成やその運営についての協力のほか、地域の青少年とのコミュニケーションを大切にし、良き相談相手となっています。

☆青少年指導員は
自治会長の推薦により、市と県でそれぞれ委嘱しています。（任期は2年）

☆人数は
二百十九人（1町内会に1人）

☆活動内容は
28小学校区の代表により青少年指導員連絡協議会が組織されており、普段は小学校区単位で活動しています。

- 仲間づくりや校外生活指導（レクリエーション大会、映画会、スポーツ大会など）
- 青少年に有害な環境実態の把握（夜間パトロール、環境マップの作成など）
- 青少年事業への協力（子ども大会、青年フェスティバル、青少年健全育成のつどいなど）
- 青少年指導員だより の発行などで、青少年を守り育てる活動を展開

このような状況の中で、青少年非行の原因となる地域環境をチェックしたり、青少年に対して健全な環境となるよう地域の人々にＰＲ活動などを行っています。

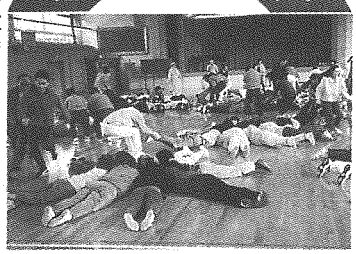
☆社会環境浄化員は
自治会長の推薦により、各地区のお母さんを市で委嘱しています。（任期は2年）

☆人数は
二百十九人（1町内会に1人）

☆活動内容は
28小学校区の代表により社会環境浄化員連絡協議会が組織されており、普段は小学校区単位で活動しています。

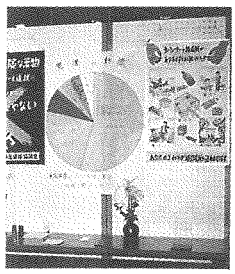
- シンナー、接着剤等乱用防止部会（青少年の非行防止とシンナー、接着剤等乱用防止のための巡視活動）
- 映画と有害広告物部会（地区内を巡視し、青少年にとって有害となる違法広告を撤去）
- 有害図書と繁華街調査部会（全市一斉に商店、事業所の

社会環境浄化員



社会環境浄化員は、有害な環境から青少年を守り、青少年の健全育成に対する大人への関心を高めるために活動しています。

酒やタバコの自動販売機の増加、急増しているコンビニエンスストアにおける有害図書やアダルトビデオの販売、カラオケボックス、テレホンクラブ、ダイヤル



少年の主張作文コンクール

最優秀作文の紹介

夏休み期間中の自由研究課題の一つとして、今年も少年の主張や提言を発表してもらう少年の主張作文コンクールが行われ、百五人の応募の中から次の方々に最優秀賞が贈られました。（敬称略）

小学生の部最優秀賞

小さな心がけ

中丸絹子さん（富士見小六年）

九月五日、この日は私たちの学校給食開始の日でした。

この日の給食時間は、みんなの「あれ？」という声から始まりました。牛乳がビンに入っているのではなく、紙パックに変わっていたからです。

私たちのクラスが給食を食べ始めたとき、「今学期から、平塚市の小学校全部が牛乳パックになりました。牛乳パックを作り出すには、たくさんの木を切り出さなければなりません。ですから、私たちのクラスでこの牛乳パックを資源ごみに出すようにしませんか？」と先生がおっしゃいました。

そのとき、私は自分の家でも、かんやビン、故紙などを仕分けして資源ごみに出していることを思い出しました。私はちょうど夏休みに、環境について考えていて、「資源」という言葉について調べていました。資源とは、「産業などの原料や材料になるもの」だということが分かりました。資源ごみでは一度使ったかんやビン、故紙などを再利用しています。

私は学校で毎日牛乳パックを集めているうちに、もっとほかにもできることがあるかも知れないと思い、母に「資源ごみを出すために、今はクラスで牛乳パックを集めているけれど、もっとほかにもできることはないかな」とたずねると、母は「だったら、クラスで出た故紙を集めて、資源ごみに出したら」と教えてくれました。

私は学校で、「クラスで故紙を集めてもいいですか？」と先生にたずねると、先生は「それはとてもいいことですから、やってもいいですよ」と言ってくださいました。私はそこで、友達と故紙入れを作りました。この故紙入れも、最近ではクラスのみんなも協力してくれるようになりました。

私たち人間は、紙を作るため木をどんどん切ってしまったので、環境が悪くなっています。

環境はどんどん破壊されていってしまうと、いつか私たち、人間までが住めなくなってしまうと聞いています。私たちが自然環境を破壊してしまったのだから、今度は守る番だと思います。私はたくさんの人たち、一人一人が資源の再利用を心がけなければ実現できないと思います。

例えば、メモ用紙などをくしゃくしゃにして、ごみ箱にすてていないでしょうか。平塚市では『名刺一枚でも資源ごみ』と言って呼びかけています。こんな小さな心がけからでも環境保護をはじめることができるのです。

これを、私は「大きな差を生む小さな心がけ」と言いたいと思います。

たくさんの人たちが、少しずつでも資源を大切にするように心がけていれば、私たちの住む大切な地球の緑を守ることができると思います。

私は、いつもこの言葉を忘れません。「大きな差を生む小さな心がけ」

中学生の部最優秀賞

風船が心の交流を

小泉理恵さん（大野中二年）

手紙を書きました。

岸戦争にもふれ、敵味方の大勢の兵隊さんが死んでいることに心を痛め、早く平和が来てくださいと願う気持ち、学校に行くときには車に気をつけてくださいとか、お父さんお母さんを大事にしてねとか、私にはあたり前のように聞き

伸びゆく青
温かく見

平塚市中

平塚市中学校区青少年健全育成連絡協議会は、町内会、学校をはじめ、青少年関係団体で相互に連携を深めながら青少年の健全育成、非行化防止に努めています。

★活動内容は
15中学校区の各地区青少年健全育成連絡協議会の代表3人ずつ、合計45人で組織されており、普段は各中学校区ごとに、地域の特性を生かした活動を行っています。（家庭指導、講演会、スポーツ大会、学習会、機関誌の発行など）

平子連

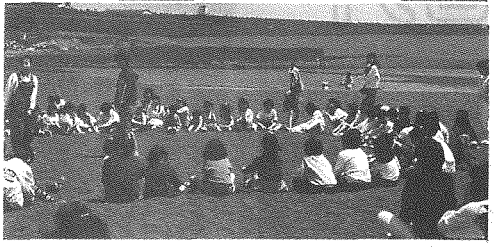
平塚市子ども会育成連絡協議会（平子連）は、子ども会活動を充実させるため、子ども会の面倒を見ている父兄や子ども会のリーダーとなって活躍している子供たちに指導、助言を行うなど、青少年健全育成の中心的役割を果たしています。

現在、子ども会は二百十九あり、小学生のほとんど全員が加入しています。

★活動内容は
28小学校区の各地区子ども会育成連絡協議会の代表により平子連が組織されており、近年の子供数の減少、生活様式の多様化などによる社会環境の変化を考え、学校や家庭では得られないような体験学習の機会を増やす活動を行っています。（子ども会文化活動発表会、スポーツ中央大会、子ども会会長研修会、子ども会劇場、安全教育の徹底、平子連だよりの発行など）

子供たちのパートナー

お兄さんお姉さん



ジュニア・リーダーズクラブは昭和五十七年に組織され、「豊かな経験」を合い言葉に活動しています。

ジュニアリーダー

子ども会などで、リーダーとなって活動する中・高校生をジュニア・リーダーといいます。

年間を通して各地区の子ども会行事に参加するほか、市の行っている県外交流体験・などの青少年社会参加事業も進めています。

★リーダーになるには
中学1・2年生で、ジュニア・リーダー養成講習会に参加し、修了することが必要となります。

★会員数は
現在百十八人（中学生51人、高校生67人）

★活動内容は
子ども会行事への参加のほか、ジュニア・リーダーとして活動していくための研修会などがあります。（レクリエーション講習会、野外活動研修会、ジュニア・リーダーのつどい、人形劇講習会、宿泊研修会、年間反省会など）

講習会

ジュニア・リーダーとして活動したいと思っている中学1・2年生を対象に、3月から12月までの間に講習会（全8回）を開き、学習します。

・募集は広報紙に掲載

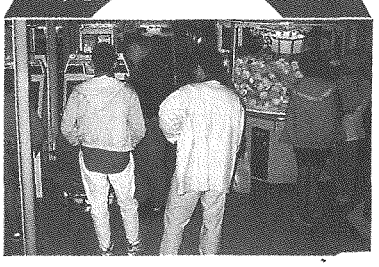
シニアリーダー

ジュニア・リーダーを卒業してからも、引き続きジュニア・リーダーを助けながら活動している方をシニア・リーダーといいます。

★会員数は
現在31人（学生20人、社会人11人）

★活動内容は
地域社会の一員としての自覚を持ちながら、ボランティア活動や仲間づくりをしています。（七夕まつりクリーン作戦、青年フェスティバル、子ども会文化活動発表会参加、年間反省会など）

青少年補導員



青少年の非行を未然に防ぐため、繁華街のみならず周辺地域を含めて巡回指導するのが青少年補導員です。

青少年の非行を防ぐには、問題行動を早期に発見し、早期に指導することが望まれます。このようなことから、街頭において「愛の一声運動」を基本に愛護指導を行っています。

★青少年補導員は
学校長の推薦により、市で委嘱しています。（任期は2年）

★人数は
42人（中学校教師、高等学校教師、民間人）

★活動内容は
42人から成る青少年補導員連絡協議会が組織されており、普段は各中学校区単位で活動しています。

・通常愛護指導（休日、祝日、土曜日を除き毎日実施）
・特別愛護指導（七夕まつり、花火大会、駅周辺など）

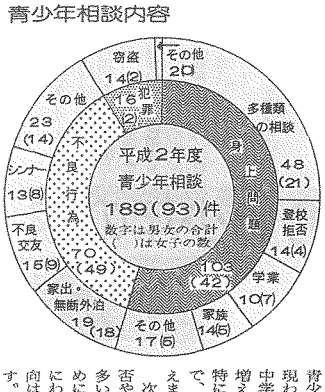
Qなど、今日、青少年を取り巻く社会環境は多様化しています。

・浄化だよりの発行などで、新しい情報を提供

協力を得て、青少年を取り巻く環境実態を調査）

青少年相談室

悩みごとや心配ごとを受付



青少年の非行を防ぐには、物質的に恵まれ、何不自由なく育った今日の青少年は、ともすれば思いやりや忍耐力に欠け、精神面での弱さを持ち合わせています。

さらに、青少年を取り巻く社会に目を向けてみると、その仕組みは一段と複雑化し、価値感の多様化、高齢化社会化など、好むと好まざるとにかかわらず、自らを厳しい状況へと追いやらねばならなくなっています。

このような状況の中で、青少年課では青少年の非行を未然に防ぐため青少年相談室「市民センター二階」を設け、青少年の悩みや苦しみ、また不幸にして非行に走ってしまった本人やその家族の悩みなどの相談窓口を開設しています。

・開設日　月～金曜日の午前9時～午後4時（土曜日は第一・三の午前中）
・電話　34－七三二一

相談は平日常時開設し、家庭、愛護指導からの相談をはじめ、学校、警察などからの委託ケースについても受理するほか、解決の難しいケースは、中央児童相談所などの専門機関と連絡をとりながら指導にあたっています。

最近の非行パターンとしては、不良交友から始まり、家出・無断外泊へと進み、その後シンナー等乱用へと発展するケースが多く、この傾向は青少年相談室の相談内容にも現われています。また、女子中学生についての相談件数が増えており、女子の場合は、特にそのダメージが大きいので、大変心配される状況といえます。

次に、身上問題では登校拒否や家族関係、家庭内暴力が多いものの、近ごろではいじめに学業が加わるような複数にわたる相談が多く、その傾向はますます強くなっています。

ヤングテレホン

青少年を対象に、電話での悩みなどの相談を受けるヤングテレホン相談を開設しています。

専門の相談員が相談をお受けしています。お気軽にご利用ください。

・開設日　月～土曜日の午前9時～午後3時30分（第2・第4土曜日は午後1時～6時）
・電話　33－七八三〇

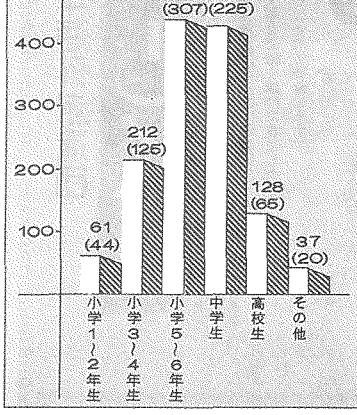
昨年度の相談件数は約一千三百件ありましたが、これだけの青少年が友達、先生または両親にさえ相談できず、思い悩んだあげく電話してきたことを考えると、昨今の寒々した人間関係を垣（かい）間見る感じがします。

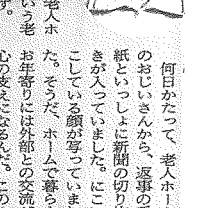
【小学生】
けんかの後の仲直りの方法や、友達が自分を無視するなどの現実的な悩みが多く、同級生を好きになったなどの異性関係の悩みも多くなっています。

【中学生】
思春期のこの年代はやはり異性関係の悩みが一番多く、次いで友人関係、性についての相談と続いています。

ヤングテレホン相談件数

電話33－7830（なやみなし）





私と妹は今、東京の老人ホームにいる杉山さんという老夫婦と文通をしています。

なぜ、老人ホームのお年寄りと文通をしているかというと、それは今から五年前の五月十日のことでした。東京の青梅市にある老人ホームの人たちが、花の種の風船を五月九日に飛ばしたというものです。その風船がわが家の庭に落ちたのが十日なのです。その花の種の袋には次のようなことが書いてありました。

「お母さん、それは心のふるさとです。きびしい中に温かい味があり、いくつになってもなつかしい。今、お母さっそく、私と妹は種をまきました。妹は当時まだ五歳で、「私が手紙を書くんだ」といって、たどたどしい字で

何日かたって、老人ホームのおじいさんから、返事の手紙といっしょに新聞の切り抜きが入っていました。にこにこしている顔が写っていました。そうだ、ホームで暮らすお年寄りには外部との交流が心の支えになるんだ。この交流の輪を広げていけたら、もっと喜んでもらえるのではないか、と思ったのです。

あるとき、おじいさんの手紙には次のようなことが書いてありました。

「日本中のみなさんが、私たちのために一生懸命に働いてくださるおかげで、毎日感謝いたしております。本当にありがとうございます」と、こんなやさしい心のこもった素直な気持ちを書いてくれているのに、私はただ今日こんなことがあったよとか、あしたは○○なんだよとか書いていたのがはずかしくなりました。

手紙をもう一度読み直してみると、何とやさしい心づかいの言葉が多いことかと。滝流していた言葉が、どんなに大事かということがわかってきました。

私たちは今、平和で豊かな日本の社会で幸せに生活しています。その幸せの中で、豊かなことに慣れ、権利のみ主張し、他人の苦しみや悩みを受けとめようとしない、自分勝手でわがままな人間に育ってしまっているのではないでしょうか。私たち中学生も高齢化社会に向け、自分のことだけでなく、お年寄りをいたわるやさしい心を持たなければならないと思います。私は老人ホームの方と文通をして、おじいさんのようなたくさんのいたわりの心を忘れていたことに気づきました。こうした心は一日や二日で養われるものではありません。長い時間をかけて育っていくのだと思います。

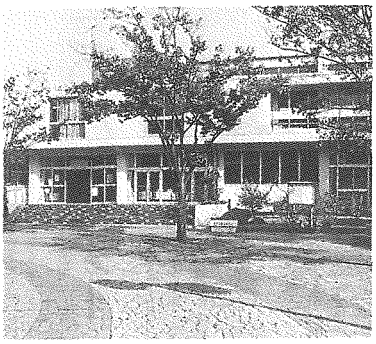
私と妹が書いた手紙をうれしそうに読んでいる、おじいさんとおばあさんの顔が目にうかぶようです。

青少年の施設紹介

青少年のみなさんに利用していただく施設です。目的に併せてご利用ください。

平塚市 青少年会館

緑の森に囲まれた文化センター公園の中に、平塚市青少年会館があります。会館では青少年活動の拠点として、八十余りのサークル団体が文化活動やボランティア活動、レクリエーション、スポーツにいています。今年は版画で作ったカレンダーが大好評／ローレンスへも贈りました。


文化センター公園内にある平塚市青少年会館

主な事業の紹介

★親子ふれあいハイキング
親と子のふれあいを高めるために開催しています。昨年は、総合公園から豊田、岡崎方面へハイキングをしました。特に、豊田の滑雲寺では住職から「徳川家康ゆかりの寺」の講話を聞きました。

★少年少女美術教室
小学生を対象に版画、絵画、粘土と幅の広い美術教室を開催しています。今年は版画で作ったカレンダーが大好評／ローレンスへも贈りました。

親子ふれあいハイキング

★会館まつり
日ごろ会館を利用して活動しているサークルの発表と、ふれあい交流を目的に開催しています。昨年は、絵画、書道、写真等の展示や模擬店を開きました。また、コーラスやバンド演奏も行われ、二日間楽しく過ごしました。
特別企画としてパネルディスカッションも開催されました。

主な施設

【1階】
- 音楽室（30人）　合唱、楽器演奏の練習に使います。
- 和室（10畳、8畳）　華道、茶道、会合などに利用できます。
- 体育館兼剣道場　剣道、卓球、バドミントン、バレーボールなどに使えます。シャワー室も併設されています。
- 柔道場　柔道、合い気道などに使えます。

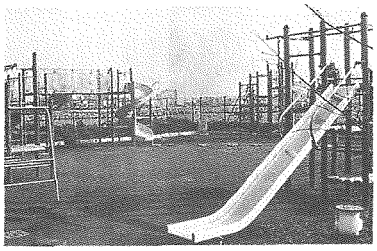
【2階】
- 集会室（180人）　青少年関係の各種講演会、講習会、映画会、レクリエーション等に利用できます。
- 会合室（A30人、B20人）　団体、グループ等の会合に利用できます。
- 美術室（20人）　デッサン、油絵などの製作に利用できます。
- 学習室（30人）　青少年の学習の場です。

◇開館時間　火～土曜日　9時～21時30分
　　日曜日　9時～17時
◇休館日　月曜日と祝日（ただし、成人の日、こどもの日、体育の日、文化の日、勤労感謝の日は開館し、翌日が休館）
◇青少年会館　〒254 平塚市浅間町12－41
　　電話32－7029

横内子どもの家

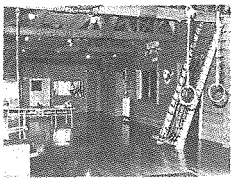
子どもの家は、子供に伸び伸びとした遊び場を与えるとともに、遊びを通して自主性、創造性、連帯感を身に付けさせ、子供たちが心身ともに健やかに育つことを願って開設しています。

横内小学校東側にある横内子どもの家


楽しい遊具のある広場

ぬくもりのあるログハウス（丸太小屋）建築です。利用できるのは、小学生、中学生、付き添いのいる幼児、青少年育成関係者です。留守家庭児童は、学校から直接子どもの家を利用することができます。また「地域の子供たちは、地域で見守り育てよう」を基本に、地域の青少年育成団体による運営委員会で運営されています。

現在、第二館目として山下小学校北側に「山城子どもの家」を建設中です。


子どもの家の屋内

主な施設

- プレイルーム（卓球の外、多目的に使用）
- 図書室（1000冊・勉強もできます）
- アスレチックス（屋根裏を利用）
- 迷路（床下を利用）
- 遊具（すべり台、タイヤブランコ、ロープネット、メロディステップ、ゆらゆら塔等）
- ゆとりコーナー（トランプ、オセロ、将棋等ができます）

◇開館時間　平日　10時～17時
　　休日　9時～17時
◇休館日　第3日曜日
◇横内子どもの家　〒254 平塚市横内2517
　　電話　53－1430

びわ青少年の家

恵まれた自然環境のもとで青少年がさまざまな体験学習を通して、豊かな心と健やかな身体を養う研修施設です。

緑濃い西部丘陵の麓豊地区に広がる台地には、数多くの植物が群生しており、四季折折の自然観察ができます。また、森の中に六百五十坪の散策コースもあります。

利用できるのは、市内在住、在学、在勤の青少年（小学校三年生以上）と、青少年育成関係者十人以上の団体です。

主な施設

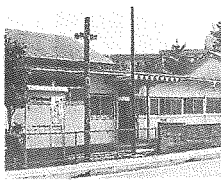
- 赤い三角屋根の宿泊管理棟（60人収容）
- キャンプサイト（80人収容）
- 多目的ホール
- 野外炊事場

◇びわ青少年の家　〒254 平塚市土屋2710-1
　　電話59－0871

みなと児童館

みなと児童館は、児童の健全な心を育て、情操が豊かになるようにと開設しています。

自主事業は、子供たちに豊かな心をはぐくんでもらうため、マジック教室、ゆび人形劇、手作り絵本読書会、卓球大会等を行っています。



主な施設

- ホール（卓球台2台）
- 図書室（文学書からマンガ本まで）
- 会議室（会合ができます）

◇開館時間　平日　10時30分～17時
　　休日　9時～17時
◇休館日　月曜日と祝日の翌日
◇みなと児童館　〒254 平塚市夕陽ヶ丘22-2
　　電話23－4281

青少年海外派遣団 ローレンスへの旅

夏休みを利用して、姉妹都市アメリカ合衆国ローレンス市へ「青少年海外派遣団」が訪問し、ローレンス市の青少年と交流を深めてきました。その感想文が寄せられたので紹介します。

古田裕美さん

私は、ローレンスにおいて多くの人と出会いました。私を見て、素敵な笑顔で握手してくれる人、通りすがりに大きな声で「Hi!」と言ってくれる子、一度しか出会うことのない相手でも、心から私を受け入れてくれる、その心の広さには感動が多いです。でも、自分で物事を作り出す企画力がいまひとつ欠けています。

ホームステイの家族と

ローレンスの人たちは、自分をよく知っています。自分が何が好きで、何をやりたいか、何を学びたいかはもちろんのこと、将来社会人としてどのように生きていくかを知っています。

私は、ローレンスでそんな人たちに囲まれて過ごし、どうやって自分の興味と関心を広げ、自分の思うこと、言いたいことを表現するか、その方法を知ることが何より大切だということを知りました。そして、学ぶことは楽しいと喜びを感じたのです。

今私が選択しようとしているこれからの未来は、人生の中でたった一度しかありません。一人の人間として、豊かな人生を送るための糧を得るにはどうしたらよいかを、ローレンスの地と、そこで暮らす人々に教わったような気がします。

長い道のりですが、人生何が起きるかわかりません。巡ってきたチャンスを生かし、その一瞬一瞬にどん欲になりたいと思います。もっとひねって、人生クリエイティブに生きて行こうと……。結局、自分に素直に「私はこれをしたい」と言い続けた人が、その夢の切符を手にできると思います。